

IV 感染性胃腸炎の対策

1 感染性胃腸炎を起こす主な原因

- ・細菌性：腸炎ビブリオ、病原性大腸菌(例：O157)、サルモネラ、カンピロバクターなど
 - ・ウイルス性：ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなど
 - ・その他：クリプトスポリジウム、アメーバなど
- ※食中毒を起こすこともあるため、食品の衛生管理・調理者の手指衛生にも注意しましょう。

2 主な症状

嘔吐・下痢・腹痛・発熱など

3 対策

予防の基本は手洗いです。 ・液体石けんを使い、こまめに手を洗いましょう。(食事前、排泄後、外出後など) ・アルコール手指消毒薬の使用も効果があります。	環境消毒をしましょう。 ・下記の表を参照し、塩素系消毒剤を用いた消毒を行いましょう。	適切な吐物処理を行いましょう。 ・嘔吐した際には、次ページを参照し、速やかに吐物処理を行いましょう。
症状のある者は適切に隔離しましょう。 ・他の避難者と部屋を分けましょう。 ・一人が発症すると他にも患者が発生する可能性が高まるため、周囲の方々の健康観察を徹底しましょう。	食中毒に注意しましょう。 ・食品は素手で触らず、85℃以上で1分以上加熱しましょう。 ・生の食品を食べないようにしましょう。 ・賞味期限を確認しましょう。 ・調理器具は漂白剤に浸けるまたは、熱湯で15分以上消毒しましょう。 ・症状がある人は、調理や配膳に携わらないようにしましょう。	

【環境消毒】

患者の便等で汚染された可能性のある場所を次亜塩素酸ナトリウムを用いて消毒しましょう。

※便・嘔吐物で汚染された場所は0.1%(1,000ppm)、その他は0.02%(200ppm)

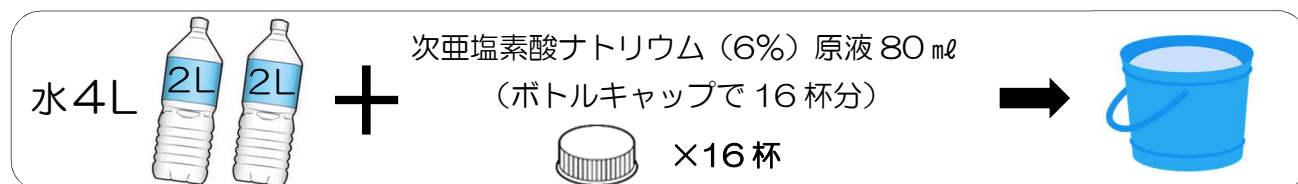
トイレ 	☐ドアノブ ☐ドア全体 ☐手が届く範囲の壁 ☐各種スイッチ ☐水を流すレバー・ボタン等 ☐ペーパーホルダー ☐便器、便座、便器蓋 ☐トイレ床 ☐トイレ用履き替えスリッパ等 ☐汚物入れやゴミ箱のふた(手で触れずに開閉可能な場合は除く) ☐その他 汚染箇所
洗面所	☐手洗い場、水道蛇口 ☐液体石けんの入れ物 (その他対応：☐固形石鹸の撤去 ☐共用タオルの撤去)
居室等	☐患者の手が触れる範囲
その他	【嘔吐症状がある場合】 ☐食器の消毒 ☐吐物の処理(次ページ参照) 【吐物や下痢で汚染した場合】 ☐下着の消毒 ☐衣服の消毒 ☐寝具の消毒 等 ※次亜塩素酸ナトリウム希釈液に10分浸けて水洗いをする。(色落ちに注意)

嘔吐物処理方法

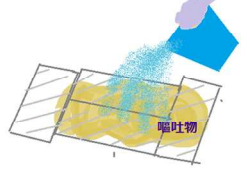
【必要物品】 ※平常時から準備しておきましょう

- 使い捨て手袋(2組あると便利) □使い捨てエプロン □使い捨てマスク □新聞紙
- 古タオルまたはペーパータオル等 □ビニール袋 □靴カバー(無ければ袋も可)
- 次亜塩素酸ナトリウム □計量カップやペットボトル等 □消毒液作成用バケツ

【消毒薬(次亜塩素酸ナトリウム希釈液(0.1%濃度))の作成方法】



- 必ず手袋を着用し、次亜塩素酸ナトリウムに直接触れないようご注意ください。
- 希釈した消毒薬は作り置きをすると濃度が薄くなるため、使用ごとに作成しましょう。

【嘔吐物処理方法】		嘔吐物の処理を実施する前に	
① 使い捨てのガウンまたはエプロン、手袋、マスク、靴カバーを着用する。 ※手袋を二重に着用する方法もあります		① 周囲にいる人を別の場所へ移動させ、嘔吐物を新聞紙やペーパータオル等で覆う。 ② 窓を開ける等、嘔吐場所の換気を行う。 ③ PPE を着用後、嘔吐した本人への対処を行う。 <u>可能であれば、①～③は同時進行で行い、嘔吐物処理は最小人数で行うようにしましょう。</u>	
② バケツに消毒液を作成し、嘔吐物を覆っている新聞紙やペーパータオルの上から消毒液を汚物が飛び散らないように静かにそそぐ。		③ 新聞紙やペーパータオル等を使用し、外側から内側へ向けて嘔吐物を拭き取る。拭き取った新聞紙やタオルはビニール袋へ入れる。	④ 手袋を二重に着用していた場合は、外側の手袋を外し、ビニール袋へ入れる。 嘔吐物処理実施者の靴の裏を消毒液に浸したペーパータオル等で拭き取る。(靴カバーを使用した場合は、汚染部位に触れないように靴カバーを外す)
⑤ 嘔吐物などを入れたビニール袋の口をしっかりと縛り、別のビニール袋へ入れる。		⑥ 嘔吐物を拭き取った場所およびその周辺（半径2mを目安）は、消毒薬に浸したペーパータオル等で覆い、10分程度おいておく。	⑦ ⑥を待っている間に、消毒薬に浸したペーパータオル等で、⑥の周辺を拭き取る。 <u>※床の場合は外側から内側へ、壁は上から下へ向かって拭き取り消毒を行う。</u>
⑧ ⑥の後、覆っている部分を新しいペーパータオル等で拭き取り、ビニール袋へ入れる。 ⑥で覆っていた箇所を消毒薬に浸した新しいペーパータオル等で拭き取る。		⑨ 使用した新聞紙やペーパータオル、手袋、マスク、靴カバー等をビニール袋に入れ、しっかりと口を縛る。	⑩ 嘔吐物処理後、十分に手洗い・うがいを行う。 <u>※手洗いは2回行うことが望ましい。</u>
⑪ 次亜塩素酸ナトリウムは、<u>金属を腐食させるため</u>、消毒後10分経過後したら水拭きを行う。		⑫ 最後にもう一度、十分な手洗い・うがいを行う。	

※二重手袋にすることで、吐物処理時の周囲への汚染拡大を低減させることができます